

登録教習機関 各位

一般社団法人 全国登録教習機関協会
専務理事 佐々木 元茂

フォークリフト運転技能講習（初任時）講師技能向上研修開催のご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当協会の実施する研修につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、標記研修の開催を下記により実施することといたしましたので、ご案内をいたします。

優れた内容と質の高い技能講習を受講者に提供することは、登録教習機関として重要なテーマです。この研修は新任講師（初任時）を対象として、講師の技能向上をめざした研修としておりますが、講師経験年数に係わらず対象を広げてお申込みいただき、貴機関の教育方法の見直しや改善にお役立ていただくよう、多くの方々のご参加をお待ちしています。

なお、ご参加いただきました皆様には、当協会で作成しましたフォークリフト運転技能講習実技指導要領テキストと DVD 補助教材を進呈しますので、貴機関での講師研修会等で実技指導の統一化のためにご活用いただけるものと考えます。

【この研修の主な内容】

① 目 的

- ・講師としての基礎的な知識と情報の入手
- ・学科／実技の教え方の習得と指導能力向上
- ・登録教習機関の講習内容の充実とレベル斉一化

② 研修の内容

【学科】・各種教育技法及びレッスンプランの作成

- ・メーカー講師による最新機械及び安全装置の情報
- ・受講者の講義演技と技術指導
- ・関係法令体系の再確認と効果的な講習方法
- ・災害事例研究

【実技】・全登協「実技指導要領」に基づく効果的な指導方法

- ・フォークリフトの操作
- ・採点方法、減点基準の通達の確認と採点演習
- ・グループ討議を通じての採点方法の再確認

記

1. 研修期間 2026年3月23日(月) 9:00~17:00
2026年3月24日(火) 8:30~16:00
2. 開催場所 株式会社PCT 埼玉教習所
株式会社BREXA PCT (2026/1/1より社名変更)
〒340-0004 埼玉県草加市弁天5-33-25
アクセス: 別添1の案内図を参照ください。
3. 定 員 20名
4. 研修内容 別添2の「研修カリキュラム」を参照ください。
5. 受講料 会員価格 40,000円(教材費、消費税を含む)
非会員価格 65,000円(同 上)
6. 申込方法及び問合せ先
【申込期限】 2026年2月17日(火)
【申込方法】 当協会ホームページの開催案内に掲載している「入力フォーム」
から必要事項を記入してお申し込みください。
・受講申込みの受付は先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。
【問合せ先】
一般社団法人 全国登録教習機関協会
〒108-0014 東京都港区芝5-27-14 小川ビル 6F
TEL:03-3456-4787 FAX:03-3456-1304
E-mail: kenshu@zentokyo.or.jp 研修G 和田
7. 宿泊
宿泊が必要な方は 各自で手配をお願いいたします。
【ご参考】
宿泊先 株式会社PCT 埼玉教習所に比較的近いホテルを以下ご紹介いたします。
*各自で手配願います。
『ホテル 朋泉(ハウセン)草加(埼玉県)』
<https://souka.hotel-housen.co.jp/access.html>
住 所: 〒340-0014 埼玉県草加市住吉1-2-27
(東武スカイツリーライン「草加駅」東口より徒歩3分)
電 話: 048-928-7700
*当日は、所定の時間までに各自、研修会場にご参集ください。
8. 服装 及び 携行品 等
(1) 服装等:
屋外で実技研修を行いますので、実技に相応しい以下のものをご用意下さい。
・作業服・**安全靴**・手袋 ・雨具 ・防寒着(必要に応じて)など(ヘルメット
は実施教習機関より借用可)
(2) 携行品: 筆記用具 等

9. 昼 食

昼食（お弁当等）は、各自でご準備ください。

＊駅前やアクセスルート近くにコンビニ店があります。

10. 受講案内の連絡をメールで行います。

原則として、開講日の約 10 日前までに、受講案内（服装等のお願い）をメール（送付）いたします。

11. 受講料の支払方法等

（適格）請求書を発行いたします。

- ・受講料は、開催日の2週間前までに、下記の口座にお振込願います。

振込先：みずほ銀行 芝支店 普通預金 口座番号 2890991

口座名義 一般社団法人 全国登録教習機関協会

ｼｬﾈﾞ ﾈｸﾄﾜﾛｷｮｳｼｬﾈﾞｶﾈｷｮｳｶｲ

- ① 都合により入金が遅れる場合はメールで当協会担当者宛てご連絡ください。
- ② 銀行振込の場合は、振込金受領書をもって領収書に代えさせていただきます。
なお、振込手数料はご負担願います。
- ③ 申込内容等の変更（受講者の変更等）の場合には、メールで当協会担当者宛てご連絡ください。
- ④ キャンセルに関して

原則として開催日の1週間前以降のキャンセルに伴う参加費返納には応じかねますので、ご了承ください。（除く当方の都合で中止・延期・他の研修への振替）都合により入金が遅れる場合はFAX 又はメールで当協会担当者宛てご連絡ください。

以上

埼玉教習所

〒340-0004 埼玉県草加市弁天 5-33-25

TEL(048)931-0121 FAX(048)931-8482



アクセス

東武スカイツリーライン「獨協大学前(草加松原)駅」東口下車

徒歩 25 分。バス 10 分。タクシー 7 分

・駅からバス：

獨協大学前(草加松原)駅東口バス2番乗り場より、10分

松 06 新田駅東口行、松 07 そうか公園行、松 01 ビアラシティ行で「日立建機前」下車すぐ前

・ 駅からタクシー：獨協大学前(草加松原)駅より約 1,000 円 7 分

フォークリフト運転技能講習（初任時）講師技能向上研修スケジュール

2026年3月23日～3月24日

（一社）全国登録教習機関協会

		講 師 等	研修時間
第 1 日 目 （ 学 科 研 修 ）			
1	開講式及びオリエンテーション	事務局	9:00～9:10 (0:10)
2	自己紹介	(全 員)	9:10～9:30 (0:20)
3	講師の役割と教育技法の活用 ① 講師の役割とは ② 教育技法とは	全 登 協 講 師	9:30～10:00 (0:30)
4	インストラクション技術の向上について ① インストラクション技術習得の必要性 ② 効果の高い講習を行うためには	同 上	10:00～10:30 (0:30)
休 憩			10:30～10:40 (0:10)
5	教科目別の教え方について ① インストラクターに求められる専門性を習得する ② 各科目ごとの重要ポイントを習得する ◆第1章～第4章	同 上	10:40～11:40 (1:00)
休 憩 (昼 食)			11:40～12:30 (0:50)
6	教科目別の教え方について ① インストラクターに求められる専門性を習得する ② 各科目ごとの重要ポイントを習得する ◆第5章～第8章	同 上	12:30～13:40 (1:10)
休 憩			13:40～13:50 (0:10)
7	フォークリフトの専門知識 ① フォークリフトの構造と特徴 ② フォークリフトの安全対策	トヨタ L & F 中村 講 師	13:50～15:20 (1:30)
休 憩			15:20～15:30 (0:10)
8	第10章 関係法令・災害事例	全 登 協 講 師	15:30～17:00 (1:30)
第 2 日 目 （ 学 科・実 技 研 修 ）			
1	オリエンテーション	事務局	8:30～8:40 (0:10)
2	第9章 フォークリフトの運転に必要な力学に関する知識 (Ⅰ)	全 登 協 講 師	8:40～9:40 (1:00)
休 憩			9:40～9:50 (0:10)
	第9章 フォークリフトの運転に必要な力学に関する知識 (Ⅱ)	全 登 協 講 師	9:50～10:50 (1:00)
休 憩			10:50～11:00 (0:10)
1	点検と整備、荷役・走行の基本操作 (実 技) (1) 点検と整備 ① 装置の名称と役割説明 他 ② 作業開始前・終了時点検箇所と点検内容と留意事項 (2) 走行と荷役の基本操作 ① 走行操作の要領説明と実演 (走行・停止・駐車) ② 荷役操作の要領説明と実演 (積み取り・積み降ろし) ③ 走行・荷役に係わる合図と確認要領	株式会社BREXA PCT 実 技 講 師 全 登 協 講 師	11:00～12:00 (1:00)
休 憩 (昼 食)			12:00～12:50 (0:50)
2	実技採点の進め方の確認 (実 技) ① 「減点基準」の説明 (DVDにて) ② 講師による実技模範演技 ③ 講師による (故意にミスした) 実技演技による採点実習	同 上	12:50～13:50 (1:00)
休 憩			13:50～14:00 (0:10)
3	実技採点演習 ① 講師による「実技演技」の受講者全員による採点演習 ② 「各自の採点結果」をグループにて討議・取纏め・発表 ③ ビデオによる「実技演技」再現と減点箇所の再確認 ※ 再確認により採点基準 & ポイント等の斉一化を図る	(全 員)	14:00～15:30 (1:30)
休 憩			15:30～15:40 (0:10)
4	総括質疑 (アンケート記入含む)	(全 員)	15:40～15:50 (0:10)
5	閉講式・修了証交付	事務局	15:50～16:00 (0:10)

フォークリフト運転技能講習（初任時）講師技能向上研修カリキュラム

（研修のねらい）

この研修は、登録教習機関における講師経験3年未満の新任（初任）の講師を対象として、技能講習の学科と実技の両科目について、講師として身につけるべき基礎的な素養及び知識を習得することを目的とする研修です。

（到達目標）

この研修を通じて、フォークリフトに関する基礎的・専門的な知識や情報（研修担当講師の経験値等）・教え方を体得したうえで、この教科目をスムーズに解かり易く教えることができること。

（第1目）学 科 研 修			
	研 修 科 目	研 修 内 容	時 間
1	オリエンテーション (学科研修カリキュラムの全体構成、各研修科目のねらいと内容を概説する。)		10 分
2	自 己 紹 介		20 分
3	講師の役割と教育技法の活用	① 各種教育技法の種類と有効性について解説し、学科講習で採用する場合のメリット・デメリットを習得する。 ② 教育技法を使用して学科講習を行う場合の進め方とその効果について解説・習得する。	30 分
	インストラクション技術とは	① インストラクション技術とは何か？目的・意義を解説し、インストラクション技術向上の必要性を理解・習得する。	30 分
休 憩			10 分
4	教科目別の教え方 1 章 フォークに関する基礎知識 2 章 原動機について 3 章 走行装置の構造と機能 4 章 走行装置の運転方法	① インストラクターに求められる専門知識（各教科目（章）毎の重要ポイント・注意事項等）について解説し・習得する。 ※各種装置の構造・機能に関する基礎知識 ※走行操作の心得 等	70 分
休 憩（昼 食）			50 分
5	教科目別の教え方 5 章 荷役装置の構造と機能 6 章 荷役装置の操作方法 7 章 点検・整備 8 章 安全装置と作業時の安全の心得	① インストラクターに求められる専門知識（各教科目（章）毎の重要ポイント・注意事項等）について解説し・習得する。 ※点検・整備の意味（必要性）と留意事項 ※安全装置等の目的と作動原理等 ※荷役作業の心得 等	60 分
休 憩			10 分
6	最新のフォークリフトに関する専門知識	① フォークリフト基礎知識（歴史）や、最新機種の新技術などの現状を紹介する。 ② 安全装置等の変化の推移と構造的特徴（目的と作動原理等）を紹介・解説する。 ③ 点検・整備等のポイント・要領	90 分
休 憩			10 分

7	第10章 関係法令・ 災害事例研究	① 「関係法令」講義時、特に受講者に伝えておきたい法令等を紹介する。 ② 災害事例研究の必要性及びリスクアセスメントの手法を概説する。	90分
(第2日目) 学 科 研 修			
1	オリエンテーション (2日目の学科・実技研修の目的・研修の進め方を説明する。)		10分
2	フォークリフトの運転に必要な力学に関する知識(Ⅰ)	インストラクターに求められる専門知識(フォークリフトの運転に必要な力学)に関する重要ポイント・注意事項等を習得する。	60分
	休 憩		10分
	フォークリフトの運転に必要な力学に関する知識(Ⅱ)	インストラクターに求められる専門知識(フォークリフトの運転に必要な力学)に関する重要ポイント・注意事項等を習得する。	60分
休 憩			10分
(第2日目) 実 技 研 修			
1	点検・整備 装置の名称と役割	① 作業開始前・終了後の点検箇所・点検内容及び点検の重要性・留意点を実機にて解説する。 ② 装置の名称と役割を実機にて解説する。	60分
	走行&荷役の基本・応用操作	① インストラクターによる走行・荷役の基本操作・応用操作の模範演技を行う。 ② 各受講者間における情報交換を行う。	
休 憩(昼 食)			50分
2	実技採点の進め方	① 実技試験の採点は通達により「減点基準」が定められており、それらの再確認(DVD映像にて)と各登録教習機関における「減点基準」に係る差異に関する情報交換を行う。	60分
休 憩			10分
3	実技採点演習	① インストラクターが故意にミスをした「演技」を行い、受講者全員が全登協編の採点表に基づき採点を実施する。 ② グループに分かれて減点結果の差異について、その要因等の分析討議をする。 ③ インストラクターは、故意にミスした「演技」を録画映像にて再現し、見落とし箇所の再確認を行い、採点基準の斉一化を図る。	90分
休 憩			10分
4	総括質疑		10分
5	閉講式・修了証交付		10分